

USB ダンパーの導入(5) —fidataHFAS1-S10 による CD 再生—

1. 始めに

前報(4)に引き続き、ヴォリュームアキュライザーの感想文により入手した USB ダンパーの効果を確認していきます。

2. USB ダンパーの試聴計画

前報(2)で述べたような事情から、今回は fidataHFAS1-S10 による CD 再生とします。

再生経路は次のとおりです。

CD ドライブ→USB Hub→fidataHFAS1-S10→USB Hub→Brooklyn DAC+
まずは、USB ダンパーなしで聴いておき、USB Hub の CD ドライブからの USB 端子入力側と Brooklyn DAC+USB 側出力端子に適用します。なお、fidataHFAS1-S10 側の USB Hub 端子は USB3.0 端子であり、USB ダンパーを挟む余地はありませんので、CD ドライブからの USB 端子入力側と Brooklyn DAC+側の出力端子のみの効果となります。



なお、この USB Hub は IO データ機器の PC 用のものでオーディオグレードではありません。USB Hub を使う理由は fidataHFAS1-S10 に USB ポートが一ヶ所しかないからです。

なお、TruPhase と Langevin 6V6pp アンプには VRA-7 を貼っています。

音源は聴きなれた下記を使用します。

Evidence EVCD015

ベートーヴェン Sonata for cello and piano No. 1

フランソワ＝フレデリック・ギィ (ピアノ)

グザヴィエ・フィリップ (チェロ)

ナクソス・ジャパン KCD-2078

モーツァルト ソナタ第 10 番ハ長調他

稲岡千架

DECCA UCCD9824

バッハ 無伴奏ソナタ・パルティータ

アルトゥール・グリュミオー

3. USB ダンパーの試聴結果

USB ダンパーなしの状態でも TruPhase と Langevin 6V6pp アンプに VRA-7 を貼っている関係から、これまでの fidataHFAS1-S10 による CD 再生と違って力強さと滑らかさが違っています。

USB ダンパーを 1 枚挟んだ直後は大きく変わったようには感じませんが、時間が経つにつれて効果が大きくなります。

USB Hub の二つの USB ケーブルの USB 端子に USB ダンパーをもう 1 枚挟みますと、ベートーヴェンのチェロソナタでは、演奏会で聴いてきた記憶が蘇ってきて、チェロは滑らかに、かつ力強くクリアーになり、ピアノも迫力がでてきます。

モーツァルトのピアノソナタでは、ベツヒシュタインの打鍵がクリアーになり、モーツァルトらしい美音が活かされます。

バッハの無伴奏ソナタ・パルティータでは、グリュミオーのヴァイオリンが力強くクリアーになります。

全般的に前報(2)と(3)の PC の LAN ポートと USB ポートに適用した場合ほど大きくはないように感じますが、次第にそれに近い効果がでてきます。

fidataHFAS1-S10 の USB ポートと USB Hub の fidataHFAS1-S10 側の USB ポートに適用できないので効果が限定的になるのが残念です。

4. まとめ

USB ダンパーを CD ドライブと fidataHFAS1-S10 と Brooklyn DAC+を繋ぐ USB Hub の CD ドライブ側と Brooklyn DAC+側の USB ポートに適用して CD を再生した場合の効果を認めました。

以上